

経営改善計画

法人名	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管部署	市民・こども局市民スポーツ室
-----	-----------------	------	----------------

【1:経営の基本的考え方】

川崎市が期待する役割と経営改革	<p>①期待する役割</p> <p>川崎市では、子どもの運動能力低下、高齢化、地域コミュニティの希薄化などが進行している中、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ・レクリエーション活動に親むることができる環境を整備し、健康増進やコミュニティの形成を図るため、生涯スポーツの推進に力を入れている。 また、競技力の向上をめざし、全国・世界レベルに通用する選手や指導者の育成を図るとともに、ホームタウンスポーツ活動を振興し、スポーツを通して市民に川崎への愛着と誇り、連帯感を育むことを図っている。総合型地域スポーツクラブと連携して地域密着型のスポーツ文化を構築してほしい。 このように多様化するスポーツの中で市民のニーズを的確に捉え、競技人口の多少にかかわらず専門性を発揮しながら、生涯スポーツ、競技スポーツ、ホームタウンスポーツの振興について寄与することを期待している。</p> <p>②経営改革項目</p> <p>川崎市体育館の指定管理期間の終了などの経営環境の変化に対応するため、協会独自のスポーツ事業等への参加促進や広告・スポンサー収入、賛助会員の増加による収入増、経費削減などの目標設定を行い、その目標に向け最大限の経営努力を行ない、設定目標が実現することを期待している。 公益目的事業比率や収支相償等の制約の中での財務改善はかなり困難な取り組みであるが、常に検証と改善に心がけて実現してほしい。 また、イベント等の内容や性質に応じて適切な受益者負担を求めるなど、市の財政支出に頼らない効率的かつ自立的な事業運営に向けた検討を進めてほしい。</p>
法人のミッション	<p>市民が日常生活の中で積極的・継続的にスポーツ活動が実践できるように、市民大会の継続開催や市民スポーツ活動の普及・振興及び競技力の向上を重点目標とし、この目的を実現するためにスポーツに関する指導者・組織の育成・支援を図り、川崎市のスポーツ振興の核づくりを実現し、明るく豊かな市民生活の形成の為に、生涯スポーツの各事業を展開する。また、公益財団法人として公益性の高い事業展開や安定した運営実現のために、自主事業を拡充し自主財源の確立を図っていく。</p>
現状及び課題の分析	<p>市民が日常生活の中で積極的・継続的にスポーツ活動ができるように、市民スポーツ活動の普及・振興及び競技力の向上を重点目標として各種事業を展開している。このために地域スポーツグループへの指導者派遣を積極的に行なっているが若い指導者の養成が不足している。また市からの補助金や助成・受託等の削減により、財政的な面で十分な派遣ができない場合もある。競技種目によっては派遣団体に偏りが生じているが、できるだけ団体の希望にそうよう実施していきたい。 指定管理事業の確実な安定経営を目指しているが、指定管理期間の制約があり、専門的な管理指導者や職員の長期雇用が難しい。これらの課題解決のために限られた期間で専門職員や指導者の確保を行いながら事業収益を増やし、市民スポーツ振興事業に還元できるシステムの構築と実践が進められている。未利用時間帯の解消策や利用時間帯の最適化を探りスポーツ人口の増加を実現する。</p>
経営ビジョン	<p>公益法人としての組織・財政・事業を整備しながら、「スポーツ活動の普及・振興」、「スポーツ指導者の育成・確保」、「スポーツ組織の育成・支援」、「競技力の向上」を基本に市民が生涯にわたり、日常生活のなかで自発的・継続的に楽しくスポーツ活動が行なえるように、さまざまなスポーツ事業への参加の機会を創るなどの環境整備を行なう。このために自主事業の拡充を行なっていく。また、公益法人としての経営体質の再構築を行なう。指定管理事業を受託した地域住民への施設の無料開放やスポーツフェスティバルなどの還元事業も実施し、スポーツ普及振興に取り組む。</p>

経営改善計画

法人名	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管部署	市民・子ども局市民スポーツ室
-----	-----------------	------	----------------

3カ年の目標と成果指標の体系	3カ年の目標と成果指標の体系(法人が市民に約束する成果)		
	<p>安定した経営を行ない、その成果を市民スポーツ振興事業に還元する。</p>	<p>スポーツ事業の充実</p> <p>A. スポーツ振興事業</p> <p>市民の健康・体力づくり増進に向け、各種スポーツ事業を普及・振興する。</p>	<p>スポーツ人口の増加【スポーツ教室等参加料収入】</p> <p>競技力の向上【表彰者の増加】</p>
法人の主な事業内容	<p>スポーツ指導者の育成・活用</p>	<p>B. 指導者育成・派遣事業</p> <p>スポーツ活動の普及・振興のために必要不可欠な指導者の養成と派遣事業の現状維持。</p>	<p>派遣団体数増、参加者の満足度向上【指導者派遣団体延数及び団体の満足度】</p> <p>登録指導者数の増加【指導者登録者数】</p>
	<p>スポーツの場の提供</p>	<p>C. 指定管理事業</p> <p>市民に快適なスポーツ施設を提供するとともに、その成果を市民スポーツの振興事業に還元する。</p>	<p>主催事業参加者の増加【主催事業参加者満足度】</p> <p>利用者の増加【施設利用者満足度】</p>
<p>A事業: スポーツ振興事業</p>		<p>市民の健康、体力づくり増進に向け、各種スポーツ事業を普及、振興する。</p>	
<p>B事業: 指導者育成・派遣事業</p>		<p>スポーツ活動普及・振興のために必要不可欠な指導者の養成と派遣事業を拡充する。</p>	
<p>C事業: 指定管理事業</p>		<p>市民への快適なスポーツ施設を提供するとともに、その成果を市民スポーツの振興事業に還元する。</p>	

経営改善計画

法人名	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管部署	市民・こども局市民スポーツ室
-----	-----------------	------	----------------

3カ年の経営課題 (必ず財務の視点と業務の効率化の視点を含める)	A事業: スポーツ振興事業	多くの市民がスポーツに参加する機会を増やすことが大切であるが、時間的制約・経費的制約・施設利用調整による制約などがある。この課題を克服するためにスポーツ教室等における時間や場所の利用方法の工夫を行うなど、施設の有効活用をしていく。また、積極的に施設外に出向いて自主事業を実施し、スポーツに参加する機会を増幅する。ジュニア育成に重点を置き、長期休業期間を活用したジュニアスポーツ事業の展開を実施する。
	B事業: 指導者育成・派遣事業	地域スポーツの振興には多くの優れた指導者が必要であるので、指導者の育成は急務である。地域における人材の発掘と活用のために総合型地域スポーツクラブ、学校、地域等と連携をしていく。定期的な指導者講習会を実施して、指導者の資質の向上を図り、一方で時代を担う指導者の育成支援を行っていく。
	C事業: 指定管理事業	施設利用増を図るため、未利用時間帯の解消や利用時間帯の最適化を行うなどして施設の有効活用を行なう。そのために、スポーツ教室等において、従来の施設利用時間の区切り方やコマ数の作り方を工夫して利用枠を増やして、利用者数を増加させる。指定管理事業収益を市民還元事業に活用し、施設利用機会の増大に結びつける。
	財務改善	次期指定管理料の減額や現指定管理施設の減少、施設老朽化等に伴う経費の支出増が見込まれるために経営が圧迫されることと思われる。また一方で公益財団としての収益事業等における一定の制約を受けるので、事業比率や、収支相償等を勘案した経営が必要で、従来にも増して事業・財務に関わる分析・評価・改善が必要となる。
	業務・組織の改革	財務改善の方策として業務分担の改善を実施して経費を削減する(施設運営管理部門)。公益財団法人としての随時整備をおこなう。

経営改善計画

法人名	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管部署	市民・こども局市民スポーツ室
-----	-----------------	------	----------------

項目	指標の種類	指標	指標の選定理由	目標値(単位)	目標値の設定根拠
A事業:スポーツ振興事業	アウトプット	市民大会等開催数	各スポーツ種目団体の活動状況やスポーツ人口を押し量る上で重要な指標となる。	53回	スポーツ協会加盟36団体が年間の事業・大会を調整し、施設の調整等も考慮してほぼ51～53回の目標回数を維持していく設定とした。
	アウトプット	スポーツ教室等事業数	スポーツ教室等の市民への提供度を把握するうえで重要な指標となる。	14回	市民のニーズに合わせた教室等の事業を開催したい。10～14回程度を目標設定したい。
	中間アウトカム	市民大会等参加者数	競技スポーツの強化と競技力の底上げを図るための重要な指標となる。	45,400人	年によって参加者数が異なるが大会開催数はほぼ変わらないが、概ね45,000人程度を目標設定したい。
	中間アウトカム	スポーツ教室等参加者数	参加者数から事業内容や満足度を付度するための重要な指標となる。	2,255人	教室によって参加者数が異なるが、スポーツ教室内容によって目標設定をしていく。
	最終アウトカム	表彰者の増加	競技力向上を把握するうえで重要な指標となる。	54人	県大会、優秀賞・特別優秀賞の人数の増加を設定する。
	最終アウトカム	スポーツ教室等参加料収入	安定的な事業収益を確保するうえで重要な指標となる。	55,940千円	事業収益を確保するために事業拡充を進めていくので前年収入を上回る目標設定とした。
B事業:指導者育成・派遣事業	アウトプット	広報団体数	登録加盟団体に広報する事により、指導者派遣制度をPRする上で重要な指標となる。	36団体	スポーツ協会加盟36団体にPRし、指導者派遣の調整等も考慮して36団体の目標数を維持していく設定とした。
	アウトプット	講習会等開催数	指導のノウハウを習得する機会を与えるための重要な指標となる。	3回	年間最低3回を目標にした。
	中間アウトカム	指導者派遣回数	地域スポーツグループの技術向上の機運を押し量るうえで重要な指標となる。	226日	費用対効果に配慮しながらできる範囲内で地域グループからの希望に添えるよう派遣件数を現状維持をしていく。
	中間アウトカム	講習会等参加者数及び参加者の指導者派遣団体延数及び団体の	指導者の資質向上を図るための重要な指標となる。	85人・70%	各講習会につき最低30人の参加者を目標とした。その都度アンケートを実施し集約する。
	最終アウトカム	指導者登録者数	地域及び団体にスポーツ技術を伝達するうえで重要な指標となる。	22団体・70%	川崎市の7地区に平均3～4団体を想定し設定した。その都度アンケートを実施し集約する。
	最終アウトカム	指導者登録者数	指導者派遣システムを確立するうえで重要な指標となる。	300人	次代を担う指導者の育成は重要であり、各加盟団体平均10人程度の人材を確保したいと考えて設定した。
C事業:指定管理事業	アウトプット	主催事業開催数	市民スポーツ参加の機会を如何に多く提供したかを判断するうえで重要な指標となる。	268事業	事業可能開催数を増やした。
	アウトプット	施設広報の発行回数	市民にスポーツ情報の提供を如何に多く提供したかを判断するうえで重要な指標となる。	6回	利用者にイベント情報や空き室情報を広報出来るよう年6回の目標回数を維持していく設定とした。
	中間アウトカム	主催事業参加者数	参加者数から事業内容や満足度を付度するための重要な指標となる。	53,758人	利用者にとって魅力あるスポーツ教室等の事業を提供し、高めの目標設定にした。
	中間アウトカム	施設利用人数	スポーツの場を提供するうえで重要な指標となる。	1,135,200人	未利用コマの解消に努めた結果利用人数を設定した。
	最終アウトカム	主催事業参加者満足度	満足度を充足させ、多くのリピーターを獲得するうえで重要な指標となる。	74%	利用者の声を反映して満足度を高めて利用率を少しでも上昇させる設定にした。利用者アンケートの実施と集約を行う。
	最終アウトカム	施設利用者満足度	満足度を充足させ、多くのリピーターを獲得するうえで重要な指標となる。	74%	利用者の声を反映して満足度を高めて利用率を少しでも上昇させる設定にした。利用者アンケートの実施と集約を行う。
財務改善	/	補助金の削減	自主財源を増額する上で重要な指標となる。	4,123千円	川崎市の財務状況に応じ、前年比8%の減額とした。
		事業参加料収入	補助金の削減を補うため重要な指標となる。	71,250千円	補助金の減額を補うため前年比18千円の増額を設定した。
		経費縮減	補助金の削減を補うため重要な指標となる。	14,200千円	補助金の減額を補うため前年比10千円の縮減額を設定した。
業務・組織の改革	/	適正な業務運営	新公益法人に向けた組織整備の重要な指標となる。	評価・分析・改善・開示更新回数 36回	経営計画の策定および評価を行う目標とした。
		透明性の高い法人経営	情報公開を進めるための重要な指標となる。		経営改善計画に基づく計画内容のホームページでの開示を適宜更新していく。

指標と目標値の設定根拠

経営改善計画

法人名	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管部署	市民・こども局市民スポーツ室
-----	-----------------	------	----------------

【2:行動計画】

計画期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日 (3 カ 年)
------	--

(1)A事業:スポーツ振興事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
市民大会等開催数	この数年開催数は51回から53回で推移している。会場確保の課題解決が難しい。平成24年開催実績は51回。	各競技団体に市民大会の意義を周知し、大会開催数を増やすことで市民がスポーツに参加する機会を増やしたい。53回の開催数を確保したい。将来は学校施設などの有効活用と結びつけた打開策を講じたい。	53回	53回	53回
スポーツ教室等事業数	平成24年度事業実績は14回。	市民のニーズを情報収集して、参加しやすいプログラム内容にして事業数の増加を実現したい。ジュニアスポーツ教室の開催を企画運営する。	14回	15回	16回
市民大会等参加者数	年によって参加者数に変化がみられる。施設利用の点で天候にも左右され、中止する場合もある。会場確保が難しい。24年度実績45,379人。	大会開催のチラシ配布やホームページを通してPR活動を行ない、大会参加者は毎年現状維持をしていく。施設の使用が満杯状況にある。将来は学校施設などの有効活用と結びつけて打開策を講じていく。	45,400人	45,420人	45,440人
スポーツ教室等参加者数	従来から継続してきた教室事業の繰り返しになっている。24年度実績2,248人。	新しい教室事業を企画して参加者数を増やす。長期の休業期を利用してジュニアスポーツスクールを開催。サマースポーツ・ウインタースポーツ教室の開催	2,255人	2,275人	2,300人
スポーツ教室等参加料収入	普及を目的にした参加者数が少ない種目も実施した。平成24年度公益事業参加料収入は55,915,000円。(指定管理除く)	もっと積極的にスポーツ教室を増やす。そのためには利用施設を増やし、指導者を増やしていく必要が課題である。	55,920千円	55,930千円	55,940千円
表彰者の増加	各加盟団体から推薦し、選考委員会にて選考、表彰を行う。24年度実績51人	各加盟団体から著名な大会等で優秀な成績を収めた者を推薦、表彰し、市民のスポーツ普及・振興を図りながら、競技力の向上を図っていく。	52人	53人	54人

経営改善計画

法人名	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管部署	市民・子ども局市民スポーツ室
-----	-----------------	------	----------------

(2)B事業:指導者育成・派遣事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
広報団体数	この数年は36団体に広報している。	加盟団体のニーズを情報収集し、応募しやすいPRチラシを作成してより多くの団体に活用してもらうよう推進する。	36団体	36団体	36団体
講習会等開催数	この数年は年2回の開催になっている。	次世代の指導者の育成が課題であり、開催数を増やして登録指導者数の増加と講習会を通して指導者の発掘をしていく。	3回	3回	3回
指導者派遣回数	指導者派遣事業を加盟36団体に周知し、派遣数の増加に結びつけた。平成24年度実績225日	加盟36団体にPRチラシなどでの広報を行う。	226日	228日	230日
講習会等参加者数及び参加者の満足度	講習内容により参加者数の違いがあるが、指導者の資質向上のために多くの講習会に参加を求めている。	講習内容には実践的なものを入れるとともに、受講者の声を聞いて参加者数が増えていくように企画する。	70人 70%	77人 70%	85人 70%
指導者派遣団体延数及び団体の満足度	派遣団体延数は現状維持の傾向にある。平成24年度実績21団体。	多くの地域でスポーツグループから派遣要請があり、これらの要請に添えていくようにするが経費面で現状維持に努める。	22団体 70%	22団体 70%	22団体 70%
指導者登録者数	各種目団体の協力で微増している。	指導者派遣システムの確立には各種目単位の指導者を多く育成する必要がある。このために講習会を多く開催し、より多くの指導者の登録を達成させる。	300人	300人	300人

(3)C事業:指定管理事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
主催事業開催数	利用者の意見・要望に副った事業を提供してきた。	希望の多い種目の継続やニュースポーツなどの採用に努め、事業開催数の提供機会を増やしていく。	268事業	191事業	200事業
施設広報の発行回数	この数年は年6回(2ヶ月に1回)となっている。	市民や施設利用者にイベント情報等を提供し、施設の有効活用を推進する。	6回	6回	6回
主催事業参加者数	利用者のニーズにそった事業を実施できた。	利用者の満足度を推し量るためのアンケート調査を実施し、分析して改善をしていくことで参加者数を伸ばしたい。	74,980人	53,758人	53,800人
施設利用人数	公平で平等な利用状況の実現とイベント誘致を試みたが、十分な誘致及び未使用コマの解消には至らなかった。	未使用コマの解消のための工夫として利用料金の割引を企画する。また、このためのPRを今まで以上に周知する。イベントの誘致をできるだけ多く実現する。	1,135,200人	884,200人	884,400人
主催事業参加者満足	幅広い年齢層の利用者が参加している。事業内容を分析して参加しやすい工夫をした。	子育て支援を意識した親子スポーツ教室やミドルエイジを対象にした教室を開催していく。保育支援を一体にして参加しやすい環境を整えていく。アンケートを通して満足度を推し量り、改善に結びつける。	70%	72%	74%
施設利用者満足度	誰でも気軽に利用できる環境づくりと満足できる環境を整えてきた。	利用者の満足度を推し量るためのアンケート調査を実施し、分析して改善をしていくことで参加者数を伸ばしたい。利用者のライフスタイルを分析して利用者の利用しやすい時間帯などを確認して利用率アップを実現する。	70%	72%	74%

経営改善計画

法人名	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管部署	市民・こども局市民スポーツ室
-----	-----------------	------	----------------

(4) 財務の改善

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
事業参加料収入の増加	毎年縮減されている補助金額は、できるだけ事業参加料収入で補っている。	引き続き事業参加料収入を増やしていくための自主事業企画を立てる。縮減額を補うためには、さらに事業の拡充を図る。平成24年度参加料収入実績71,250千円。	71,250千円	66,250千円	66,300千円
経費の縮減	光熱水料費や消耗品などの経費削減策を実施している。	引き続き経費削減策を職員発案のアイデア募集などを通して実現していく。平成24年度決算額当期経常増減額14,203千円。	14,200千円	9,200千円	9,250千円

(5) 業務・組織の改革

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
適正な業務運営	公益法人として、組織等の整備を随時進め、適正な公益法人としての活動を行う。	定期的に経営会議を開催し、施設運営管理状況の把握と、協会全体の経営計画の策定および評価を行ない改善していく。また、公益法人として、公益性の高い運営を行う。	評価分析 改善開示	評価分析 改善開示	評価分析 改善開示
透明性の高い法人経営	インターネットホームページを通して協会経営情報の開示を行ってきた。平成24年度H. P. 更新回数34回。	情報公開し、透明性を維持し適宜更新していく。	更新回数 36回	更新回数 38回	更新回数 40回

資金計画表

[平成26年度～平成28年度]

法人名: 公益財団法人川崎市スポーツ協会

(単位:千円)

項目			平成26年度	平成27年度	平成28年度
経常収支	収入	基本財産運用収入	55	55	55
		特定資産運用収入	12	12	12
		入会金収入	0	0	0
		会費収入	3020	3020	3020
		事業収入	354239	272000	272000
		補助金等収入	4168	4168	4168
		寄付金収入	0	0	0
		雑収入	6331	4502	4502
		負担金収入	422	422	422
		...			
	経常収入合計		368247	284179	284179
	支出	事業費	281000	199225	199225
		管理費	44139	36157	36157
		減価償却費(△)	-3244	-3244	-3374
退職給付引当金繰入(△)					
...					
経常支出合計		321895	232138	232008	
経常収支			46352	52041	52171
投資収支	特定預金取崩収入	7212	7212	42212	
	特定資産取得支出	-40000	-50000	-26000	
	固定資産売却収入	0	0	0	
	固定資産取得支出	-4000	0	-4000	
	投資等収支		-36788	-42788	12212
財務収支	長期未払金				
	リース債務返済支出	-3530	-3530	-3530	
	借入金償還による支出 利息/配当金の支払				
	財務収支		-3530	-3530	-3530
現金預金増加高			6,034	5,723	60,853
期首現金預金			10,000	16,034	21,757
期末現金預金			16,034	21,757	82,610